

千葉市感染症発生動向調査情報

2018年 第24週 (6/11-6/17) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数	24週	23週	22週	21週
小児科	18	18	18	18
眼科	5	5	5	5
インフルエンザ	28	28	28	28
基幹定点	1	1	1	1

上段:患者数
下段:定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定点	感染症名	千葉市					千葉県
		注意報	6/11-6/17	6/4-6/10	5/28-6/3	5/21-5/27	6/4-6/10
			24週	23週	22週	21週	23週
小児科	RSウイルス感染症	○	7 0.39	3 0.17	1 0.06	0 0.00	18 0.13
	咽頭結膜熱		8 0.44	10 0.56	3 0.17	7 0.39	165 1.22
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		60 3.33	61 3.39	74 4.11	70 3.89	491 3.64
	感染性胃腸炎		130 7.22	116 6.44	147 8.17	153 8.50	748 5.54
	水痘		5 0.28	11 0.61	5 0.28	27 1.50	95 0.70
	手足口病		2 0.11	2 0.11	3 0.17	1 0.06	27 0.20
	伝染性紅斑		1 0.06	1 0.06	1 0.06	0 0.00	44 0.33
	突発性発しん		9 0.50	19 1.06	9 0.50	15 0.83	97 0.72
	ヘルパンギーナ		2 0.11	3 0.17	4 0.22	1 0.06	42 0.31
	流行性耳下腺炎		2 0.11	2 0.11	2 0.11	1 0.06	18 0.13
インフル	インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く)		17 0.61	1 0.04	5 0.18	5 0.18	19 0.09
眼科	急性出血性結膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	流行性角結膜炎	○	5 1.00	3 0.60	4 0.80	4 0.80	27 0.77
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	無菌性髄膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	マイコプラズマ肺炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	4 0.44
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.11

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(11件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	40歳代	病原体等の検出等	侵襲性肺炎球菌感染症	男性	10歳未満	病原体の分離・同定
結核	男性	60歳代	病原体等の検出等	百日咳	男性	10歳未満	病原体遺伝子の検出
結核	男性	60歳代	IGRA検査	百日咳	女性	10歳未満	病原体遺伝子の検出
結核	女性	50歳代	IGRA検査	百日咳	女性	10歳未満	病原体遺伝子等の検出
急性脳炎	男性	10歳未満	高熱及び中枢神経症状	百日咳	女性	40歳代	抗体の検出
急性脳炎	女性	10歳未満	高熱及び中枢神経症状	-	-	-	-

・第24週は、結核7件(86)、腸管出血性大腸菌感染症1件(3)、E型肝炎1件(4)、百日咳3件(30)の報告があった。

※ ()内は2018年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第24週のコメント

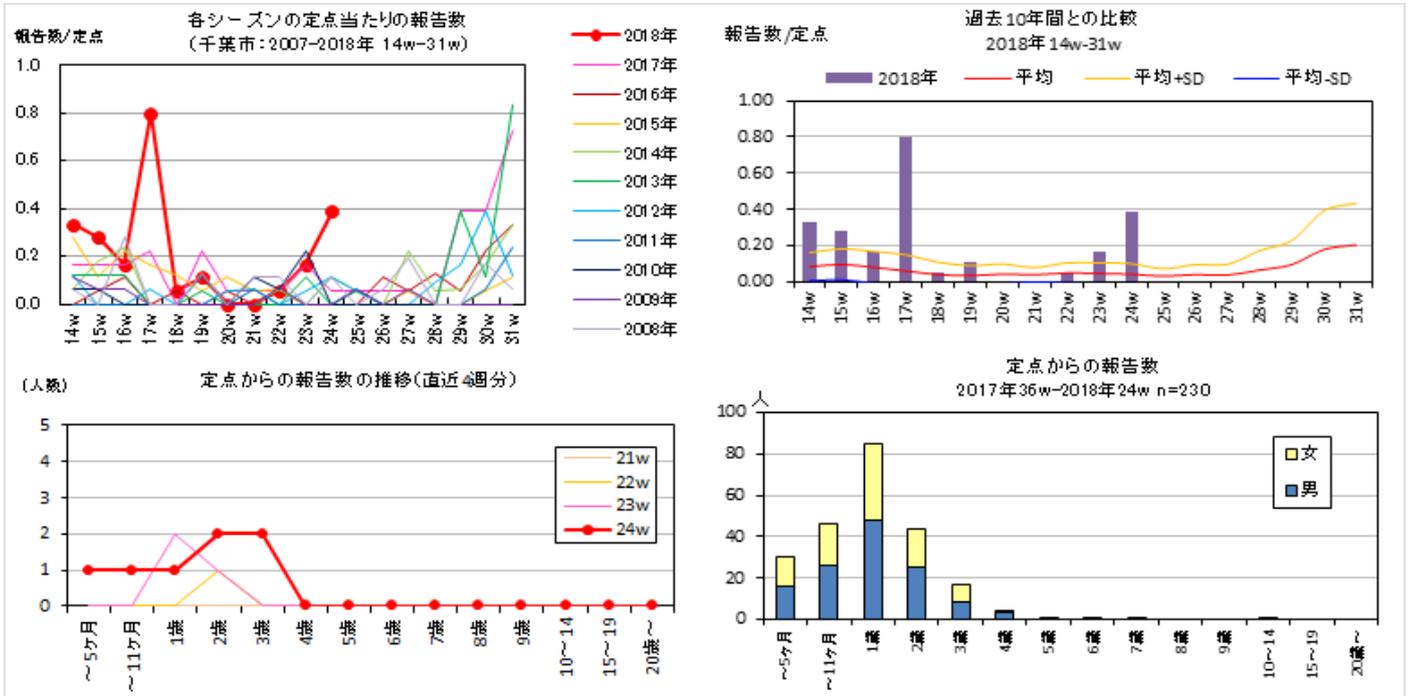
<RSウイルス感染症> 前週より増加し0.39となった。過去10年の同時期と比べると最多。

<流行性角結膜炎> 前週より増加し1.00となった。過去10年の同時期と比べると多め。

■ トピック ■

＜RSウイルス感染症＞

全国レベルは第13週から過去10年の同時期と比べて最多の状態と推移しており、第23週も同様となっています。都道府県別では沖縄県、新潟県、山口県の順で多く報告されています。千葉県は全国レベルと比べると少なめとなっています。千葉市の第24週は前週より増加し0.39となり、過去10年の同時期と比べると最多となりました。区別の発生状況は、緑区(1.0/定点)で最多で、同区の3歳で最も多く発生報告がありました。今シーズンである2017年第36週から2018年第24週までの累積報告数(n=230)によると、性別では男性が55.2%(127名)、女性が44.8%(103名)で、年齢階級別では1歳(37.0%:85名)、6-11か月(20.0%:46名)、2歳(19.1%:44名)の順で多くなっています。



＜流行性角結膜炎＞

全国レベルの第23週は、過去10年の同時期と比べると僅かな状況となっています。都道府県別では鳥取県、徳島県及び沖縄県の順で多く報告されています。千葉県は全国レベルと比べると僅かとなっています。千葉市の第24週は前週より増加し1.00となり、過去10年の同時期と比べると多めとなりました。区別の発生状況は、美浜区(3.0/定点)で最も多く、同区の2歳、40歳代及び70歳代で発生報告がありました。2018年第1週から第24週までの累積報告数(n=45)によると、性別では男性が53.3%(24名)、女性が46.7%(21名)で、年齢階級別では30歳代(15.6%:7名)、40歳代(13.3%:6名)、10歳代前半(11.1%:5名)の順で多くなっています。

